

「それでも生きる意味はある」

可茂人権擁護委員協議会

全体研修会

令和6年12月7日（土）、坂祝町中央公民館で人権講演会事業として、南修治氏のコンサート『それでも生きる意味はある』が行われました。約100人の聴衆の中、「君のままですばらしい」「だいじょうぶだからね」など自作の歌とエピソードを交えながらのコンサートでした。ある中学校では、自分に自信が持てなかった中学生が、コンサート後に前向きに取り組みだしたと学校から連絡が来たこともあったそうです。

このコンサートは、可茂協議会の全体研修に位置づけ、18名の委員が参加し、最後まで熱心に傾聴しました。

さあ！
演奏が始まり
ます



歌詞カードを
手にする会場
の皆さん

絶妙な弾き語りの
世界に引き込まれました

